

## 小方小通信

## 始業式 学校長の話

おはようございます。小方学園のみなさん！！元気ですか！？元気があれば、2学期の始業式ができる。今朝のあいさつ早い者勝負は、最初の20人中、4勝16敗でした。新学期の始まり、張り切っている様子が分かって、大変うれしい気持ちです。

(中略)

ところで、確認です。小方学園の学園教育目標を言えますか。「かしこく なかよく たくましく」です。つまり、「みんな 元気に なかよく 勉強してほしい」という願いがこもっています。ただ、それだけ。それだけのことができれば、まずOKです。

ただし、校長先生は次の言葉も大切に考えています。「一に安全 二に学力」。「安全」そして「安心」、これがすべての土台です。

まず、安全が保障されていないと、勉強をがんばろうという気持ちになりません。教室のドアが壊れていつ倒れてくるか分からない教室、ブランコなど遊具が壊れたままで使われている学校、そんなところで「勉強をがんばるぞ」という気持ちになれますか。また、いじめや暴力がよくある学級で、「さあ、今日も勉強をがんばろう」という気持ちになれますか。不安で、そんな気持ちになれるわけがありません。だから、まず安全が第1です。

今日は、安全の中でも、特にいじめを起こさない、許さないというお話をします。

冗談半分でも、相手の身体や心を苦しめたら「いじめ」になります。

「いじめ」というのは、4つのグループがあります。画面を見てください。

1つ目は「いじめられる人」、2つ目は「いじめる人たち」。人を困らせて、人を苦しませて喜んでいます。3つ目は「いじめを見て、はやし立てたり喜んだりする人たち」、4つ目は「いじめを黙って見ている人や、見て見ぬふりをする人たち、傍観者」です。

さて、この4つのグループのうち、いけないことをしている人は、どのグループの人ですか。訊いてみます。手を挙げてください。・・・

いじめられる人以外、みんないけないことをしている人です。特に、日本は外国に比べて、いじめを黙って見ている4番目の人たちが、とても多いと言われていています。自分さえいじめられなかったらそれでよいと思っ

るのでしょ

か。まず、2番目のいじめる人にならない、そして3番目、4番目にもならない。いけないことを知っていたのに黙っているというのがいけない。

でも、こんな人もいます。いじめを見つけて「止めようとする人、何とかしようとする人」です。もし、みなさんの周りにいじめられている人がいたら、5番目の人のように止める。誰かにすぐ言う。「これは、いじめではないだろう」ではなく、「これは、いじめかもしれない」と思って、黙って見ているのではなく、止めるか、先生方に教えてください。まずは、友達に話して、友達と一緒に先生に教えてく

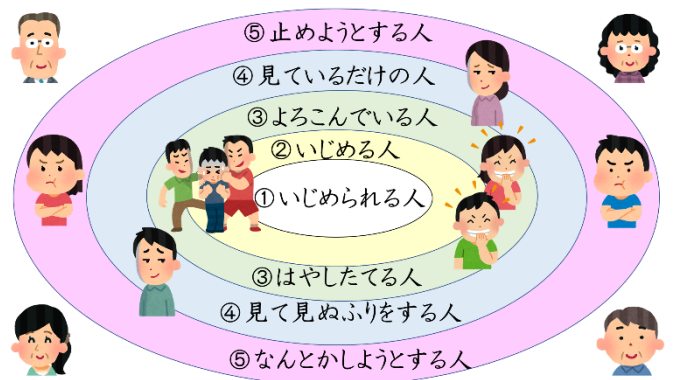
らせてもいいです。お家の人に話してもいいです。早く大人に教えてください。

実は、「一に安全 二に学力」が、小方学園に現れていることがあります。

4月に行われた全国学力・学習状況調査。日本全国の小学校6年生と中学校3年生が、このテストを受けました。小方学園の小学校6年生は、国語と算数の両方とも広島県と日本全国の平均点を上回りました。中学校3年生は、国語と数学と英語の3教科のテストでしたが、小方学園の中学校3年生は、国語と英語は小学6年生と同じく、広島県と日本全国の平均点を上回りました。数学は日本全国よりは下回りましたが、広島県より上回りました。

これは、すごいことです。こんなに、小方学園の小学校6年生と中学校3年生が、全国のテストでよくできていた原因の一つには、今までに、いじめや暴力などが、ほとんどない、つまり、学級や学年のみんなが、安全に安心して勉強ができる仲間になっているということです。いつ見ても落ち着いて勉強しています。テストの点も良くなると思います。来年は、今の小学校5年生と中学校2年生がこのテストを受けます。がんばってください。

「いじめも暴力も許さない」小方学園。「一に安全 二に学力」。安全な場所で安心して「みんな 元気に なかよく 勉強できる」小方学園を、先生方と児童生徒の皆さんがみんなと一緒に創っていきます。



## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

4月18日に6年生が実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をお伝えします。

教科	平均正答率 (%)		
	本校	広島県	全国
国語	73	69	67.2
算数	69	64	62.5

ご覧の通り、国語、算数どちらも広島県平均、全国平均ともに上回る結果となりました。無回答の割合も大変低く、「じっくり考えはつきり説明する」指導の成果と考えています。今後も児童が「できた！わかった！がんばった！」と思える授業づくりのために授業改善に努めていきます。

## 第41回大竹市原爆死没者追悼・平和祈念式典

8月6日、運営委員の西沢真澄君と田中真尋さんが代表で参列し、平和への誓いの作文朗読、全校児童で折った折り鶴の献納をしました。作文朗読の中で、「今のぼくが幸せだからいいやではなく、みんなが幸せでいられるように考えられる人間になりたい」とありました。みんなが安心安全で暮らしていくために、一人一人が意識していかなければならないことだと思います。



## じっくり考えはつきり説明できる児童育成に向けて

身近なテーマについて友だちと意見を交わすことで、立場を決め理由を説明する意識をつけるために、職員室前の掲示板に「友達と議論したくなるギロンバ」を作りました。初回のテーマは、「朝ごはんは、パン派？ごはん派？」です。掲示板の前で議論していた児童に話を聞いたところ、「ごはん派です。ごはんのほうがよく噛んで食べるからです。」「わたしもごはん派です。パンよりごはんのほうがたくさん食べられるからです。」と、同じ立場でしたが、自分の考えをはつきり表現し、おなじごはん派であっても理由の違いを聞き合っていました。



## 道徳参観日・懇談会

9月15日に行われた道徳参観日・懇談会には、大変多くの方にご参観いただきました。保護者用駐車場として開放しているテニスコート横のグラウンドでは、車の動線がはつきりせず出入りができない状況があったことをお詫びいたします。

今年度から、「道徳教育推進拠点地域事業」に指定されており、考え議論する道徳の授業、道徳的価値観を形成する発問づくりに主眼を置いて取り組んでいます。自己を見つめ、物事を多面的多角的に考え、自己の生き方について考え深める道徳の授業をみていただけたと思います。これからも内面の力を育てていけるよう取り組んでいきます。

また、4、5年生は、懇談会終了後にPTCAを行いました。学級委員の皆様には、調整や準備等ご協力いただき、ありがとうございました。児童は、保護者の方とともに、普段ではなかなか経験できない活動を地域の方とすることができ、大きな学びとなったと思います。



手すき和紙体験



心肺蘇生講習

